

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表2003-527153

(P2003-527153A)

(43) 公表日 平成15年9月16日 (2003.9.16)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
A 6 1 F 13/49		A 6 1 F 5/44	H 3 B 0 2 9
5/44		A 4 1 B 13/02	H 4 C 0 9 8
13/15			K
13/494			R
13/56		A 6 1 F 13/16	3 4 0
		審査請求 未請求 予備審査請求 有	(全 35 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2001-517988(P2001-517988)  
 (86) (22) 出願日 平成12年8月23日 (2000.8.23)  
 (85) 翻訳文提出日 平成14年2月19日 (2002.2.19)  
 (86) 国際出願番号 PCT/US00/23085  
 (87) 国際公開番号 WO01/013846  
 (87) 国際公開日 平成13年3月1日 (2001.3.1)  
 (31) 優先権主張番号 60/150, 327  
 (32) 優先日 平成11年8月23日 (1999.8.23)  
 (33) 優先権主張国 米国 (US)  
 (31) 優先権主張番号 09/637, 430  
 (32) 優先日 平成12年8月11日 (2000.8.11)  
 (33) 優先権主張国 米国 (US)

(71) 出願人 キンバリー クラーク ワールドワイド  
 インコーポレイテッド  
 アメリカ合衆国 ウィスコンシン州  
 54956 ニーナ ノース レイク ストリ  
 ート 401  
 (72) 発明者 フレイバーガー サラ ジェイン マリー  
 アメリカ合衆国 ウィスコンシン州  
 54130 コーコーナ ウェルハウス ドラ  
 イヴ 2708  
 (74) 代理人 弁理士 中村 稔 (外9名)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 再装着可能な吸収体物品

(57) 【要約】

前部、背部、及び股部を有する再装着可能な吸収体物品が開示される。股部は、前部を背部に接合する。背部は、第1端と、第2端と、第1および第2側縁とを含む。前部は、第1端と、第2端と、第1及び第2側縁を含む中央区域とを有する。第1及び第2横区域は、中央区域に取り外し可能に取り付けられ、各横区域は、外縁を有する。前部はまた、第1端及び第2端を有する。背部は、第1端と、第2端と、第1及び第2側縁とを有する。背部は、第1区域と、第2区域とに分けられる。第1区域は、背部の第1端からこれと平行に引かれた線まで垂直に測定された長さ $L_1$ を有する。第2区域はまた、背部の第2端から第1端と平行に引かれた線まで垂直に測定された長さ $L_2$ を有する。第2区域は、第1側縁及び第2側縁と、第1面積 $A_1$ 及び第2面積 $A_2$ を有する。吸収体物品は、約1.3から約3.5の間の範囲の比 $A_1/A_2$ を有する。吸収体物品はさらに、前記前部、背部、又は股部のうち少なくとも1つに固定された吸収体を含む。前部の第1及び第2横区域の外縁の各々は、背部の第1及び第2側縁の1つに固定され、ウエスト開

